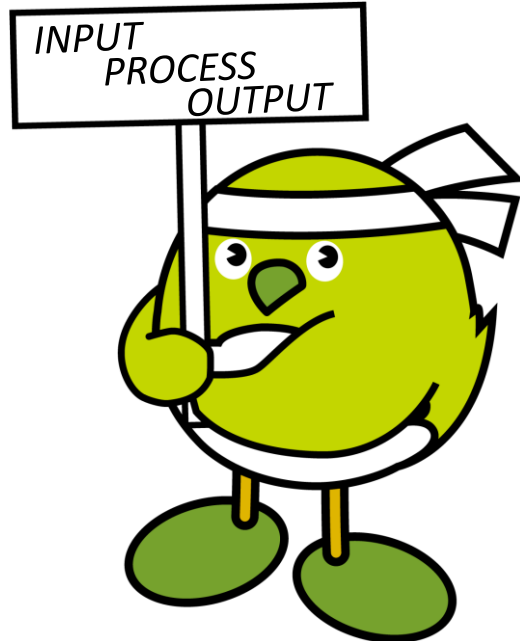


令和3年度佐伯教育事務所管内第3回地域授業改善協議会

佐伯管内の授業改善に係る課題と 今後求められる取組等について



令和4年1月17日

大分県教育庁佐伯教育事務所

本日の内容

【説明】

1. 佐伯管内の授業改善に係る課題と今後求められる取組等について

【演習】

2. 自校の授業改善に係る取組内容の振り返りと今後の取組について

<佐伯市学力向上対策に係る取組>

- (1) 付けたい資質・能力、評価規準を明確にした授業の実施
- (2) 「情報の取り出し」を意識した授業の実施
- (3) 必然性をもったペア・グループ活動の実施

※詳細は「別添資料」をご覧ください

第2回学校訪問での状況

・授業を構想する上でのポイントとなる事柄が意識されてきた。

①<単元で付けたい力(単元目標)>について

育成を目指す資質・能力の3つの柱にそって単元目標を設定している板書指導案が多く見られた。

②<本時のねらい>について

「A(学習内容)、B(学習活動)、C(育成を目指す資質・能力)」の3つの要素を入れて、活動のゴールの姿をイメージし、付けたい力をどのようにして身に付けさせるのかを意識した板書指導案が多く見られた。

③<本時の評価規準>について

付けたい力が身に付いた児童生徒の姿のイメージを持ち、ねらいと対応させている板書指導案が多く見られた。

1. 佐伯管内の授業改善に係る課題と今後求められる取組等について

第2回学校訪問を受けての今後の改善点

・「情報の取り出し」について、テキスト等に線を引かせたり視点を与えて読ませたり、各学校での様々な工夫がうかがえた。「児童生徒が何のために何を取り出すのか、取り出した情報をどう使って考察等していくか」といったイメージを明確にした工夫を更に進める必要がある。

・「導入部」について、児童生徒の疑問や既習事項とのズレから課題設定へとつなぎ、これまでの学びを基に課題解決の見通しを持たせている授業が見られた。児童生徒の思考の流れにそった導入部の工夫を更に進める必要がある。

・「振り返り」について、校内で共通した視点をつくって振り返りをさせている学校が多く見られた。学びの過程や変容を自覚させる等の目的にそった振り返りの工夫を更に進める必要がある。

・授業改善について、若手の人材育成とも重ねて学力向上プランと連動させた具体的な取組内容を共有し、校内研修や互見授業等を基盤に、更に検証・改善していく必要がある。

1. 佐伯管内の授業改善に係る課題と今後求められる取組等について

グラフや表の読み取り等
段階的で丁寧な指導

どのような処理を促して、どのような力をつけるのか
最後に出力させたい言葉を想定して、計画段階で

結果や過程等について
まとめて話す・書く場を設定等

情報の取り出し
～に着目して

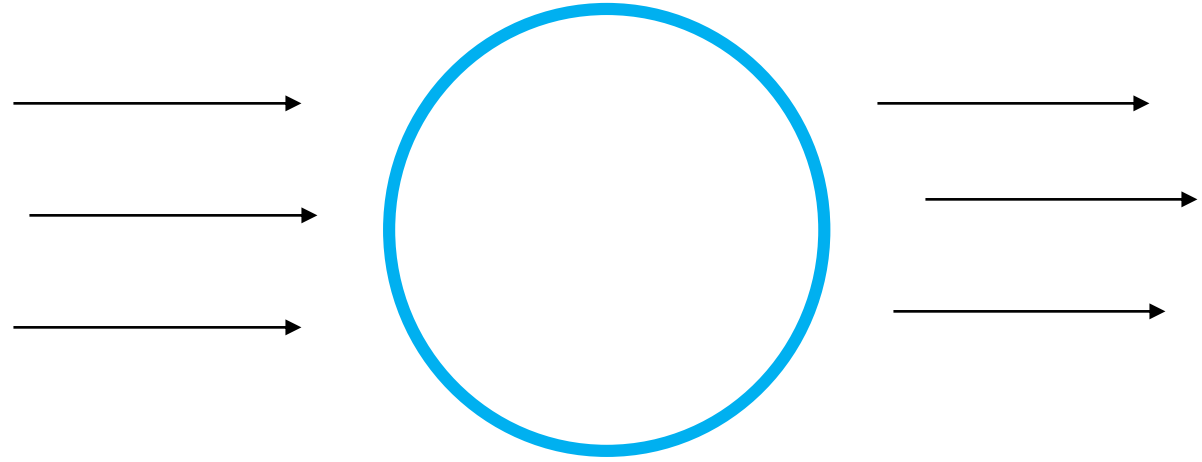
取り出した情報の処理
比較して・分類して・関連付けて・・・等々

情報の出力
結果や過程等について
最後には言語化

INPUT

PROCESS

OUTPUT



他者との対話をもたらす効用の例

- ①聞き手としての他者(説明による精緻化)
- ②話し手としての他者(異なる情報の収集)
- ③知の協同構築としての他者
(情報を提供し合い、関連付けて、知を創出する)

1. 佐伯管内の授業改善に係る課題と今後求められる取組等について

「考えるための技法」の活用

小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間 P82～
中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間 P79～

「考えるための技法」とは、この例のように、考える際に必要になる情報の処理方法を、「比較する」、「分類する」、「関連付ける」のように具体化し、技法として整理したものである。総合的な学習の時間が、各教科等を越えて全ての学習における基盤となる資質・能力を育成することが期待されている中で、こうした**教科等横断的な「考えるための技法」**について、探究的な過程の中で学び、実際に活用することも大切であると考えられる。

○順序付ける

・複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える。

○比較する

・複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。

○分類する

・複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる。

○関連付ける

・複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。
・ある対象に関係するものを見付けて増やしていく。

○多面的に見る・多角的に見る

・対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。

○理由付ける(原因や根拠を見付ける)

・対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする。

○見通す(結果を予想する)

・見通しを立てる。物事の結果を予想する。

○具体化する(個別化する, 分解する)

・対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする。

○抽象化する(一般化する, 統合する)

・対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする。

○構造化する

・考えを構造的(網構造・層構造など)に整理する。

「考えるための技法」を紙の上などで可視化することで、いわば道具のように意図的に使えるようになる。生徒の思考を助けるためにあらかじめワークシートの形で用意しておくことも考えられる。・・・例えば「○○中学校思考ツール」

1. 佐伯管内の授業改善に係る課題と今後求められる取組等について

「情報の取り出し」、「どのような考察等をさせるのか」といった授業の視点の参考として

平成24年度

全国学力・学習状況調査 **小学校** の結果を踏まえた
授業アイデア例

平成24年度全国学力・学習状況調査【小学校】の結果を取りまとめた「報告書」において、調査結果を踏まえて授業を改善する際の参考となるよう、授業のアイデアを幾つか例示しています。

本パンフレットは、これらの「授業アイデア例」の一部について、校内研修や授業計画などの資料として活用できるよう、別冊子としたものです。

本調査において見られた課題は、調査の対象学年のみならず、各学年を通じた系統的・継続的な指導によって改善していくことが大切です。是非とも本パンフレットを各研究会や学校全体で活用していただきたいと考えています。

平成24年9月
国立教育政策研究所教育課程研究センター

平成27年度
小学校

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた
授業アイデア例

国語 算数 理科

「授業アイデア例」は、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示すものとして、国立教育政策研究所において作成したものです。

本調査で見られた課題は、調査の対象学年だけではなく、学校全体で組織的・継続的な取組によって改善を図っていくことが大切です。

「授業アイデア例」が、日々の授業や研修会など様々な場面で活用され、児童生徒の学習状況の改善につながることを期待しています。

目次

授業アイデア例の見方		1	
国語 P.3~P.8	「話の内容に対する聞き方を工夫しよう」 ～相手の意の目的や態度を捉えながら聞き、自分の考えをまとめられることができる～	3	
	「自分の思いや考えを根拠付けるために引用しよう」 ～新聞のコラムを読んで、引用の仕方について理解することができる～	4	
	「交流会について取材して、学校新聞を書こう」 ～取材した内容を整理して、新聞記事を書くことができる～	5	
	「自分の考えを述べるために必要な図表やグラフを用いて書こう」 ～自分の考えに合った図表やグラフを用いて、文章を書くことができる～	6	
	「昔話の好きな場面を音読して紹介しよう」 ～聴いた自分の思いや考えが伝わるように音読することができる～	7	
	算数 P.9~P.14	「20%増量前の量の求め方を考えよう」 ～日常生活の事象に見られる増減の場面を捉えて～	9
		「巻き尺だけで30°の角をつくることを考えよう」 ～図形の性質を活用して日常生活の事象を解決する～	11
「目的に応じた代金の見積り方を考えよう」 ～およその大きさで考え、最終をもって判断し説明する～		13	
理科 P.15~P.22	「月はどのように動くのだろうか」 ～方位磁針を用いた方位の調べ方を身に付け、適切な定量的観察ができる～	15	
	「池の水の中には、メダカの食べ物になるものがあるのだろうか」 ～対象や目的に応じて観察器具を適切に操作することができる～	17	
	「水はどのようにして全体が温まっていくのだろうか」 ～温度を測りながら加熱方法を考えることができる～	19	
	「温めて溶かしたミョウバンは、冷やすとどのくらい出てくるのだろうか」 ～実験結果をグラフにして分析することができる～	21	

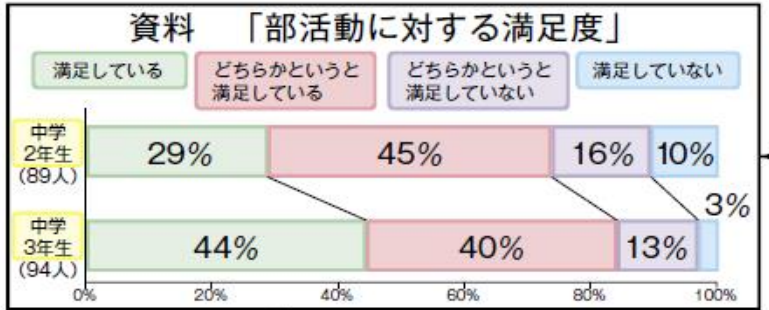
平成27年9月
国立教育政策研究所教育課程研究センター

1. 佐伯管内の授業改善に係る課題と今後求められる取組等について

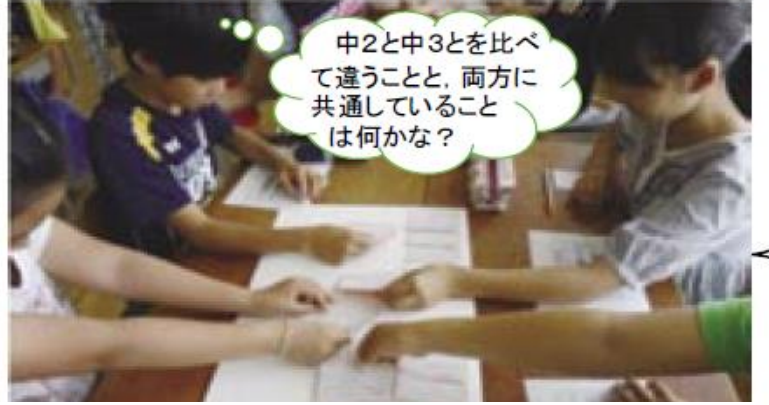
国研HP H24 授業アイデアより 段階的で丁寧な指導に

【第二次 (3/5) の授業の様子】 資料「部活動に対する満足度」を読み取って分かる事実をカードに書き、観点に即して整理する。

【活動①：資料から分かる事実をカードに書く】



【活動②：書いたカードを観点に即して整理する】



【グラフの読み方の手順】

- ステップ1** 表題, 調査時期, 調査対象などを確認する。
- ステップ2** 凡例 (グラフ中の記号の意味を示したもの) を確認する。
- ステップ3** 縦軸と横軸とを関係付けながら, 事実を読み取る。
- ステップ4** 比較したり統合したりして, 全体を考察する。

＜資料「部活動に対する満足度」(グラフ)を読む場合＞

比べる相手や観点


- 中学2年生と中学3年生について一つの観点で比べる
→ 「満足している」の場合で比べると, ...
- 中学2年生と中学3年生について複数の観点を重ね合わせて比べる
→ 「満足している」と「どちらかという満足している」とを合わせてみると, ...

比べ方



- 大小で順位をつける
- 足したり引いたりする
- 大きく二つのまとまりに分ける
- 一定の基準を設ける (半数, ~以上, ~以下, ~未満など)

違いを示す言葉の例

- 増えた・減った
- 多い・少ない
- 最も
- 変わらない



【観点到して整理した質問の内容 (例)】

- ① 中学2年生と中学3年生とを比べて違うこと
 - 「最も高い割合を見ると, 中学2年生は「どちらかという満足している」ですが, 中学3年生は「満足している」です。
 - 「満足していない」の割合は, 中学2年生の10%に対して, 中学3年生は3%で7%減っています。
 - ② 中学2年生と中学3年生の両方に共通していること
 - 中学2年生も中学3年生も, 「満足していない」の割合が最も低くなっています。
 - 「満足している」と「どちらかという満足している」とを合わせてみると, 中学2年生も中学3年生も70%以上です。
- 
- 

1. 佐伯管内の授業改善に係る課題と今後求められる取組等について

H27 小学校 授業アイデア

学習過程

学習課題 解説文を書くことに向けて、自分の伝えたいことに合った図表やグラフなどの資料を見付けよう

学習活動1 何を伝えたいのか確認し、必要な情報を探す

- 自分の伝えたいことを明確にし、書名、目次、索引、見出し、手掛かりとなる言葉などに気を付けて、資料などを速く大まかに読む。



伝えたいことに合う情報とは、伝えたいことの根拠となるものや伝えたいことをより詳しく説明するものです。



一人一人がごみを減らしたり、ごみをきちんと分別したりすることが大事だということ伝えて、もっと協力してもらいたい。そのために、「ごみの分別の仕方」や「ごみの処理の仕方」に気を付けて読んでみよう。

学習活動2 必要な情報がどこにどのように書かれているか見付けながら読む

- 「図表やグラフの読み取りポイント」に基づき、各自で、図表やグラフから読み取ったことをまとめる。



図表やグラフを読む際のポイントには主に次の四つがあります。

- ①何を表す図表やグラフなのか
- ②図表やグラフの中にあるそれぞれの情報は何を表しているのか
- ③どの言葉や数字に注目するのがよいか
- ④注目する言葉や数字は何を意味するのか



ごみの始末には大変な努力、費用、時間がかかることが伝われば「なるほど」、「確かに」、「ごみの分別に協力しよう」と思ってくれらるだろうな。

学習活動3 見付けた情報によって自分の伝えたいことが伝わるか考えながら読む

- 「自分の伝えたいこと」と「図表やグラフから読み取ったこと」との照応について、説得力を高めているか確かめる。



図表やグラフなどを用いると自分の考えをより分かりやすく伝えることができます。何のために資料を用いるのか考えましょう。

- ①数を表したい→表やグラフ
- ②図解したい→図
- ③実際の様子を説明したい→絵や写真

など



ごみの減量や分別の必要性について、説得力をもって伝えるためには、この図表やグラフ、絵、写真で合っているかな。

学習活動4 選んだ図表やグラフ、絵、写真などの資料を用いて、文章を書く

- 自分が選んだ図表やグラフ、絵、写真などは、伝えたいことに合っているかを考え、選んだ資料を用いて伝えたいことを書く。
- 何という資料から引用したのかを表やグラフの近くに書く。また、文章の最後に、参考にした資料名などを明記する。



自分の考えを述べるために必要な図表やグラフを用いて、文章を書く

1. 佐伯管内の授業改善に係る課題と今後求められる取組等について

【第二次 (2/5) の授業の様子】 目的に応じて、必要となる情報を取り出したり、複数の記事を関係付けたりしながら、互いの考えを発表し合う。

マラソンの距離やその由来について、友達に説明するための発表原稿を、100字以内で書いてみましょう。
(B③三を活用)

ステップ1



マラソンの距離については、「何km(キロメートル)走るの?」に書いてあるね。



マラソンの由来については、「★豆知識コーナー マラソンのはじまり」に書いてあるね。★がヒントだね。

ステップ2

① 「何km(キロメートル)走るの?」

要点 マラソンの距離は、42.195km。

② 「★豆知識コーナー マラソンのはじまり」

要点 古代ギリシャが、「マラ톤の戦い」で勝ったとき、その知らせをアテネまでの約40kmを走って伝えた。

↓ このことがもとになり

第1回オリンピックで、マラトンとアテネの間で競走が行われた。

「マラソンの距離やその由来」を説明するためには、42.195kmのことを中心に書くことが大切だから、ハーフマラソンのことは省いてもいいね。

「由来」を辞書で調べたら、「このおこり」とあった。記事には、「このことがもとになり」とあるから、「このこと」が示す部分を取り上げればいいね。

ステップ3



「マラソンの距離は、42.195kmです。この距離は、～に由来しています。」の形にまとめ直せば、発表原稿ができるね。

発表原稿 (83字)

マラソンのきよりは、42.195kmです。このきよりは、古代ギリシャが、「マラ톤の戦い」で勝ったとき、その知らせをアテネまで伝えたきより、約40kmに由来しています。

▲ 取り出した複数の情報を比較し、分析、統合している様子

情報を取り出し、関係付けるためには…

ステップ1
目的に応じて、必要となる雑誌記事を取り出す。

ステップ2
取り出した複数の情報を比較し、分析、統合する。

ステップ3
与えられた条件(字数など)に合わせて、情報を操作し、加工する。

1. 佐伯管内の授業改善に係る課題と今後求められる取組等について

H27 中学校 授業アイデア その①

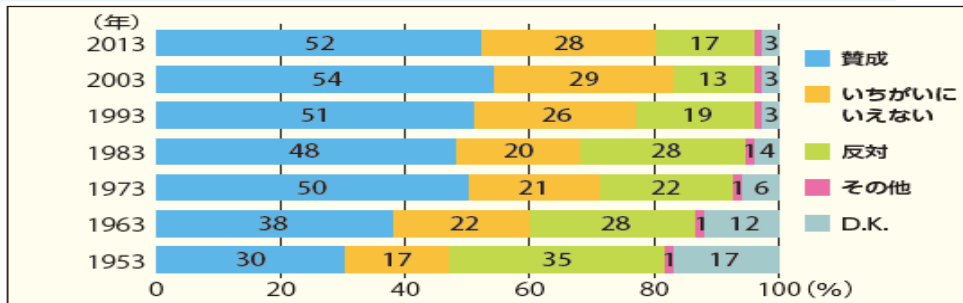
「社会の中にある情報を自分と結び付けて考える」

複数の資料から情報を得て、自分の考えを具体的に書く

A

人間らしさはへるか

こういう意見があります。
「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？



※ D.K.= Don't Know の略。「分からない」、無回答などを含む。
※ 調査は20歳以上の男女個人を対象として実施。ただし、第11次調査(2003年)は20歳以上80歳未満、第13次調査(2013年)は20歳以上85歳未満の男女個人を対象として実施。

B

工場育ちのレタス？ 農業技術の最先端

2014年5月8日
今、農業でのIT (information technology 情報技術) の活用が世界中で注目されている。例えば、九州と同程度の土地面積のオランダは、コスト管理や栽培環境の制御にITを活用することなどで、農業輸出額が世界第2位の農業大国へと成長した。
日本でも、農業へのITの導入に注目が集まっている。例えば、ITを活用し、温度や光などを最適な状態に保った上で、収穫、出荷の調整までを一貫して行う植物工場がある。レタスを栽培しているある植物工場では、無菌室を室温22度、1日約12時間光を当てるように制御している。作業員は全身を十分に洗浄し、無菌状態で作業に当たる。工場育ちのレタスは、普通よりも少し早い45日程度で出荷される。植物工場では、天候や季節に左右されず、安定した生産が可能になる。また、クリーンな栽培環境で生育した野菜は長持ちする。農業を使う必要もないので、安全性にも優れている。
このほかにも、人工衛星を活用した作物の管理や農業用ロボットの開発や実用化が進められている。
世界的な人口増加の中で、ITを活用した農業はこれからの食料生産を支えていくことになりそうだ。

C

全国新聞

2013年(平成25年)6月24日(月曜日)

世界初！夢の映像

深海からの生中継に成功

22日、カリブ海の深海5000mからの生中継が実現した。調査潜航する「しんかい6500」に光ファイバーケーブルをつなぎ、通信衛星を介してインターネットにより全世界に深海調査のリアルタイム映像を配信した。深海から調査の様相を生中継する試みは世界初。海底(深さ5000m)に至るまでの経過や、熱水噴出孔から黒い熱水が吹き出る様子、その周辺に生息するエビなどの生き物の撮影・配信に成功した。調査に当たって「しんかい6500」には、研究者やパイロットなど3名が搭乗した。

映像を配信した番組は、リアルタイムで延べ30万人以上が視聴し、冒険家気分を味わった視聴者から「夢のようだ」、「リアルタイムで見られたことに感動」などのコメントが寄せられた。

「しんかい6500」6500mの深さまで潜ることができる有人潜水調査船。1989年に完成し、日本近海に限らず、太平洋、大西洋、インド洋などで、海底の地形や地質、深海生物などの調査を行い、2012年には通算13000回目の潜航を達成した。

1. 佐伯管内の授業改善に係る課題と今後求められる取組等について

H27 中学校 授業アイデア その②

第1時

① **A, B, C**の資料を読み、**二つ以上の資料の情報を関連させて考えたことや疑問に思ったこと**などをノートに書く。

② ①で書いたノートを基に、**どのような情報を関連させてどのように考えたのかを交流し、自分の考えを広げる。**

Aのグラフを見ると、科学や技術が発達することで人間らしさがなくなっていくのではないかと考えている人が多いね。でも、**B**に書かれているような植物工場野菜が作られることで私たちの食生活が豊かになるのだとしたら、一概にそうとは言えないな。

6500メートルの深さまで潜ることができる有人潜水調査船があることに驚いたけれど、工場育ちのレタスがあることも驚いた。科学や技術の発達によって、今まで想像もしていなかったことが、どんどん現実になってきているのだね。



Cの記事にあるように、家に居ながら深海などの映像を見ることができるようになるのはすばらしいね。でも、色々なことを自分で体験せずに、映像だけで満足するようになると、**A**にある「人間らしさ」が減ることにつながるのかもしれないな。

③ **交流した内容を踏まえ、新たに考えたことや疑問に思ったこと**などをノートに書き加える。

第2時

科学や技術が発達することで、私たちの暮らしはどのように変わっていくと考えますか。また、あなたはどのように暮らしていきたいと考えますか。**A, B, C**の中の二つ以上の資料から必要な情報を取り出し、それらを関連させながら自分の考えを具体的に書いてみましょう。



教師

- ④ 第1時に書いたノートを参考にしながら、提示された課題についての自分の考えを書く。
- ⑤ 必要に応じて、学校図書館やインターネットなどを利用して、自分の考えを補足するための資料を収集する。

〔書き直した文章の例〕

第3時

⑥ 第2時に書いた文章を互いに読んで、二つ以上の資料から取り出した情報を関連させながら、自分の考えを具体的に書いているかどうかという観点で助言し合い、それを基に書き直す。

Aのグラフを見ると、「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」という意見に反対している回答者が**1993年以降は2割未満**ですが、私もこの意見に反対です。**なぜなら**、**B**のようにITを活用した植物工場があれば、いつでも新鮮な野菜が食べられて、人間らしく健康的に暮らすことができると思うからです。自分で調べてみたら、サラダ菜などの野菜を育てている植物工場もあることが分かりました。私は、科学や技術が発達することで、今以上に食生活が充実して大勢の人が生き生きと暮らすことができるようになると思います。~~だから、科学や技術の発達による暮らしの変化はよいと思います。~~**私は**、今後、レタスなどの工場育ちの野菜を積極的に購入して食べてみたいと思います。また、友人にも試してみるように勧めるなど、**科学や技術の発達による食生活の変化を楽しんで暮らしたい**と思います。



自分がどのように暮らしていきたいのかも書き足したらどうかな。

参 考

授業づくりのポイント

「振り返り」の充実に向けて



1. 「振り返り」の質を向上させるための5つのポイント、13の視点

「ポイント」	振り返りの「視点」
【1】「振り返り」の目的を確認する。	① これまでの学びを自覚する。 ② これからの学びを見通す。 ③ 次の学びを生み出す。
【2】学習時間のまとまりを意識させる。	④ 1単位時間を振り返る。 ⑤ 単元全体を振り返る。 ⑥ 複数の単元を関連付けて振り返る。 ⑦ 他教科等と関連付けて振り返る。
【3】「振り返り」の内容を焦点化する。	⑧ 学習集団の「めあて」「課題」及び自己の「めあて」「課題」から振り返る。 ⑨ 学習の過程を振り返る。 ⑩ 認知の過程を振り返る。
【4】「振り返り」を振り返らせる。	⑪ 自己の成長を自覚する。 ⑫ 「振り返り」を批判的に検討する。
【5】他者と「振り返り」を共有させる。	⑬ 他者の「振り返り」の内容を自分の学びに生かす。

*指導の目的や意図に応じて、振り返りの「ポイント」や「視点」を意識し、授業改善につなげましょう。

2. 自校の授業改善に係る取組内容の振り返りと今後の取組について

【演習】

1. 自校の学力向上プラン〈取組内容〉、〈取組指標〉の記述から何を授業改善の視点としているかを、①～④にいくつか書き出します。
2. 書き出した内容について、校内で具体的なイメージ等が共有されているかチェックして、されていれば「○」、不十分であれば「△」を記入します。
3. △については、「△の理由」と「必要なことをどのようにして行っていくか」を考えて書きます。
4. 1「情報の取り出し」、2「考える際に必要となる情報の処理方法」についても同様にチェックします。

演習シート

第3回地域授業改善協議会 演習シート

()学校 **学校名を記入**

令和4年 1月17日(月)

自校の授業改善の取組について、校内で具体的なイメージや取組内容が共有できているか振り返ってみましょう。

○「学力向上プラン」について ○「情報の取り出し」、「考える際に必要となる情報の処理方法」について

＜手順＞

1. 自校の学力向上プラン〈取組内容〉、〈取組指標〉の記述から何を授業改善の視点としているかを、①～④にいくつか書き出します。
2. 書き出した内容について、校内で具体的なイメージ等が共有されているかチェックして、されていれば「○」、不十分であれば「△」を記入します。
3. △については、「△の理由」と「必要なことをどのようにして行っていくか」を考えて書きます。
4. 1「情報の取り出し」、2「考える際に必要となる情報の処理方法」についても同様にチェックします。

○学力向上プランについて

	自校で取り組んでいる授業改善の視点	評価	△の理由	必要なことをどのようにして行っていくか
①	「めあて」と「振り返り」、「課題」と「まとめ」を連動させて授業に位置づける	△	「めあて」、「課題」、「まとめ」、「振り返り」の区別や呼応関係の捉え方の共通理解を図ることができていないから	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修で、新大分スタンダードQ&Aやこれまで作成した板書計画等を用いて、区別と呼応関係についての協議をする ・これからの授業の板書写真を用いて、学年部等で相互チェック等を行っていく
②	毎時間必ず「振り返り」を行う	△	具体的にどんな振り返りをしていくか共通理解を図ることができていないから	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が「振り返りの視点」の考えを出し合い、視点を整理したカードを作って校内で共有する ・互見授業の視点に取り入れて定期的に検証していく
③	算数・数学科において、既習事項を効果的に活用した課題へのつなぎ	○		
④			記入例	

○1. 「情報の取り出し」、2. 「考える際に必要になる情報の処理方法」について

1	目的や視点等を持たせた「情報の取り出し」			
2	指導案等で「考えさせる」とする際、どのような思考を促すかの具体イメージ ～思考の類型「比較」「分類」「関連付ける」等の考えるための技法の活用等～			